

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 令和 2年 12月 16日

事業所名 放課後等デイサービスけやきの森

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		十分な広さがある。	
	2 職員の配置数は適切である	5	1	利用者1人につき職員0.6人以上で対応しています	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		トイレ前が段になっていますが、特に現在は問題ない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			前回より、改善されてきている。継続していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		特に受けていないが、あれば取り入れたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	管理者のみ受けている	研修の告知はあまりない。希望があれば、参加できるよう調整したい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		好きなことを伸ばせるよう工夫している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		職員で、案を出し合っていきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		利用者の反応で評価して、継続か、新しいものにするか考えたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	学校休日にイベントや、お出かけ、公園などの外遊び時間を増やしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3		出勤時間の違いや、送迎時間で毎日、スタッフ全員が話しをする時間が取れていないので、ホワイトボードを使い、管理者から、個々の連絡報告をします。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		退勤時間の違いや、送迎時間で、スタッフ全員で話しをする時間が取れていないので、管理者への、個々の連絡報告を、より詳しくしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	2種類の様式で残している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	6か月ごとに行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	1			

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		こちらから、連絡することが殆どですが、対応はきちんとしてくれている。より情報共有を働きかけたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1		該当者があれば、対応する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		関連事業所にもよるが、必要な場合は、密に関わっていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		対象者があれば、行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		公園等で、一緒に遊んだり、交わることが出来ている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	管理者が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			モニタリングや日々の送迎時、電話やラインを使用し、より、密に状況を共有していきます。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			事業所だけでは解決できないことも、幅を広げて関係機関の紹介等をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		ご依頼がありましたら、していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			月1回、発行している。より中身を充実させていく。
	35	個人情報に十分注意している	5	1		個々の職員に意識付けしていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	年二回行っている	スタッフのみなので、児童参加で行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		近々行う予定。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		対象者1名。拘束を行う場面はなくなっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2		対象者があれば、対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		作成している。全員に共有していく。